

市長記者会見

◆と き：令和4年12月16日（金）

午前10時～

◆ところ：可児市役所4階第1会議室

1. 令和4年可児市重大ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

可児市市長公室秘書広報課

0574-62-1111 内線3324



1月開催予定日時
1月23日（月）午後3時～

令和4年 可児市重大ニュース

次のとおり、令和4年の重大ニュースを発表します。なお、順位付けはしていません。

合言葉は“10年後につなげよう 市民の笑顔” 市制施行40周年

1.市制施行40周年事業

2.アーラ20周年事業

企業や地域との連携でみんなが住みやすいまちづくり

3.ゼロカーボンシティ宣言

4.見守りサービス

5.農福連携協定

新たな魅力ある場所づくり

6. 日特スパークテック^{ワ-クス}WKSパークがオープン

7. (仮称)可児御嵩インターチェンジ工業団地の造成工事に着手

8. ぎふワールド・ローズガーデンにモロッコガーデンがオープン

次のステージへ

9.新型コロナウイルス感染症拡大を乗り越えて

10.富田市政、4期目スタート

合言葉は“10年後につなげよう 市民の笑顔” 市制施行40周年

1. 市制施行40周年事業…#可児市40

令和4年4月1日で市制施行40周年を迎えました。「#可児市40 ～10年後につなげよう、市民の笑顔～」をテーマとしてさまざまな記念事業を実施しました。

○「#可児市40」発信事業

市民や事業者の皆さん、行政が、SNSで「#可児市40」を付けて情報発信してもらう取り組みは、12月16日時点で、5,000件を超える投稿があり、皆で市制施行40周年を盛り上げました。

可児商工会議所と連携して「#可児市40」を活用したInstagram投稿企画インスタンプラリーなども行いました。



○プレミアムKマネー(プレミアム率40%)の発行事業

プレミアム率40%を付したプレミアムKマネーを10万冊(総額14億円分)発行しました。

4月 市民及び在勤・在学者を対象に販売

申込者数 50,444人 購入者数 50,181人

7月 市民を対象に販売

申込者数 56,111人 購入者数 48,827人(抽選)

総販売実績 99,008冊 (13億8611万2千円分)



○若手職員プロジェクトチームによる企画事業

外部団体や市民、企業等と共に新たな可児市の魅力のきっかけづくりを目指す、庁内の部署を超えた若手職員によるプロジェクトチームを編成し、可児市の地域課題に取り組みました。

プロジェクトチームは3つのグループに分かれ、それぞれ次のようにテーマを設定し、地域と連携を取りながら取り組みを進めました。

テーマ	主な取り組み
多文化共生	・オノマトペカード・ポスターの作成 ・学校給食での外国メニュー提供(5月、11月、次回2月) など
子ども×遊び心×地域団体 (子どもと地域団体とのつながりづくり)	・チャンバラ(山城連絡協議会) ・木曽川左岸遊歩道整備(木曽川左岸遊歩道友の会) ・ア－ラ事業(ア－ラクルーズ) など
地区センターの活性化	・「そうだ！地区センターへ行こう」(地区センター講座)の開催 など



担当:総合政策課

○企業と連携した魅力ある企画事業

10月1日、可児市文化創造センターアールでBEGINとヤイリギターが共同開発した楽器「一五一会」の世界大会を開催しました。2日にはBEGINのコンサートがあり、可児市のものづくりや観光情報をPRしました。

10月15日、16日には、ふれあいパーク緑の丘でZIP-FM主催の音楽とキャンプのイベント、「GREEN&GOLD」が開催されました。可児市ブースでの市の魅力発信とチャンバラ合戦を実施しました。

ふれあいパーク緑の丘では、11月12日、13日にもキャンピングカー製造会社であるトイファクトリーのキャンプイベント、「トイキャン2022」が開催されました。可児市在住の浅尾美和さんがトークイベントに登壇し、可児市の暮らしやすさをPRしてくれました。

【一五一会世界大会】



【GREEN&GOLD】



入場者数:10/15 759人
10/16 778人

【トイキャン2022】



入場者数:230組 800人(スタッフ含)

○特別功労者表彰

5月28日、特に市政の発展に尽力頂いた18名を特別表彰しました。



担当:秘書広報課

2.アーラ20周年事業

アーラは20周年を迎えました。市民との関わりを大切に歩んできた20年でした。7月21日～31日には、「つなげるつながる」をテーマにアーラ開館20周年写真展を開催しました。まち元気部メンバーの中高生のアイデアにより会場を装飾し、20年間の思い出の写真800枚を展示しました。会期中には、アーラの活動に参加されている方々など500名が来場しました。

また鑑賞事業では、可見市と縁のある方や、身近なテーマを題材にした公演を行いました。

【写真展】



【公演】



担当:文化スポーツ課

企業や地域との連携でみんなが住みやすいまちづくり

3.ゼロカーボンシティ宣言

7月5日、「ゼロカーボンシティ宣言」をしました。近年の気候変動に大きな影響を及ぼしている温室効果ガスの削減に向けて、市民、事業者、行政が一体となって取り組み、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します。

○「ボトル to ボトル」リサイクルを開始

3月8日、サントリーグループと「ボトル to ボトル」リサイクル事業について協定を締結しました。

資源ごみとして排出される使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生することで、ペットボトルを繰り返し活用できる資源として循環させる取り組みです。株式会社バローホールディングスもこの取り組みに賛同され、市内3店舗で実施しています。



○広見小学校で環境学習を実施

7月5日、循環型社会の実現に向けた取り組みを子どもたちに知ってもらうため、サントリーグループと協力し、環境学習を行いました。

可児川に捨てられたごみが海の生態系に影響を与えることを説明し、リサイクルの大切さを伝えました。

また、7月30日に株式会社バローホールディングスと協力して行った食育講座では、食材を余すことなく食べることの大切さを伝えました。



担当：環境課

4.見守りサービス

だれもが安心して暮らせるまちを目指して、企業や地域と連携し、子どもと高齢者の見守り事業を始めました。

○登下校の見守り

6月17日、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、株式会社 otta と協定を締結し、IoT 技術を活用した「見守りサービス」を新たに導入しました。

市内小学生を対象に、希望者全員に「見守り端末」を無償配付し、この「見守り端末」を持つ児童が、小学校や通学路上の店舗等に設置された見守りスポット(検知ポイント)を通過することで、その位置情報を記録するものです。記録された位置情報履歴は、万が一の際、保護者同意のもとで警察に開示し捜索活動の一助として活用できます。

今年度は今渡北小学校及び今渡南小学校の2校でモデル的にサービスを開始し、効果検証を行いながら来年度以降に全市立小学校へ展開する予定です。



【見守りのしくみ】



担当:総合政策課

○認知症高齢者等見守りシール事業

認知症の高齢者等の方が行方不明になった際に、早期に自宅に戻れるよう支援するものです。

市から支給した見守りシール（二次元コード）を対象者が普段身につける物に貼付していただき、行方不明になった対象者を発見した人が、スマートフォン等で二次元コードを読み取りコールセンターに連絡すると、コールセンターから親族や警察などに連絡するというものです。

4月から事業を開始し、12月1日現在で41件利用されています。

担当：高齢福祉課



5. 農福連携協定

11月22日、市内にいちご生産農園「中電ウイングファーム」を開設した中電ウイング株式会社(中部電力株式会社の特例子会社)と、農業と福祉分野の連携強化のための協定を締結しました。

この取り組みは、地域における障がい者等の就労、生きがいの場となるだけでなく、高齢化や担い手不足といった問題を抱える地域農業の維持、さらには地域活性化にもつながります。



担当：産業振興課

新たな魅力ある場所づくり

6. 日特スパークテックWKS^{ワークス}パークがオープン
4月10日、土田の木曾川沿いに「日特スパークテックWKS^{ワークス}パーク」がオープンしました。

豊かな自然に囲まれたこの公園は、あらゆる世代が自然に触れ合いながら楽しく交流できる場所です。

また、昭和58年の豪雨災害により被災した場所でもあることから、自然の怖さや防災について学ぶ場として、災害時には防災活動拠点としての機能を持っています。



担当：都市整備課

7. (仮称)可児御嵩インターチェンジ工業団地の造成工事に着手

令和2年度に「新たな雇用の場の創出」「移住・定住人口の増加」「税収の安定確保」を目的に事業化されたこの工業団地開発事業は、用地取得、家屋移転補償、詳細設計、ボーリング調査、アプローチ道路改良工事等を行い、今年度から第1工区の造成工事に着手しました。

7月7日には、共同企業体3社からなる当該工業団地造成工事安全協議会の主催で造成工事の起工式が行われ、可児市長をはじめ多くの関係者が出席し、工事の安全を祈願しました。

企業誘致については、優良企業を立地できるよう造成工事と並行して進めていきます。

【今後のスケジュール】

令和4～5年度 第1工区造成工事（令和6年4月分譲予定）

令和5～6年度 第2工区造成工事（令和7年4月分譲予定）

【起工式】



【造成工事】



担当：企業誘致課

8. ぎふワールド・ローズガーデンにモロッコガーデンがオープン

10月15日、秋のローズウィークで賑わうぎふワールド・ローズガーデンに、モロッコ王国と岐阜県の友好のシンボルとしてモロッコガーデンがオープンし、国内外の来賓を招き盛大にオープニングセレモニーが行われました。

モロッコ王国から来日した10名の職人により、同国の伝統技術と資材で美しく装飾されたガーデンは、ぎふワールド・ローズガーデンの新たな魅力となり、来園者を楽しませていました。



担当:観光交流課

次のステージへ

9.新型コロナウイルス感染症拡大を乗り越えて

○自宅療養者支援

1月から3月に拡大した「第6波」、7月から9月にかけて拡大した「第7波」では、全国的に新規感染者が大幅に増加し、特に第7波においては、変異種「オミクロン株」の感染力が強く、新規感染者数が過去最大となりました。

感染者の増加に伴い自宅療養者も大幅に増えたため、市は8月16日から9月11日にかけて、70歳以上の単身又は高齢者のみの世帯で食料の確保が困難な方に、食料の配布と健康状態の確認を行う自宅療養者支援を実施しました。

担当:健康増進課

○がんばれかっこ！おうえん給食

9月15日、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、市内小中学校で頑張っている子どもたちを応援するため、子どもたちが笑顔になれる「がんばれかっこ！おうえん給食」を提供しました。

子どもたちに大人気のしょうゆラーメンに春巻き、中華サラダを付けた中華風の献立で、デザートは豆乳アイスは小麦、卵、乳不使用でより多くの子どもたちに楽しんでもらえました。

子どもたちからは「全部おいしかった！」「豆乳アイス最高！」「大人気メニューでどれも足りない」「ラーメンは野菜たっぷり栄養がとれるし、アイスは牛乳アレルギーでも食べられてうれしかった」などと大好評でした。



担当:給食センター

○対策しながらイベントの開催 3年ぶりの可児夏まつり

8月14日、可児夏まつりが開催されました。3年ぶりの開催とあって、待ち望んでいた市民が大集結。ステージを囲んで輪になって踊り、会場は熱気に包まれました。また、可児の夜空に色鮮やかな噴き上げ花火が上がり、見る人に元気を届けました。

他にも、木工教室や魚つかみ、はたらく車の展示など、親子で楽しめるコーナーがあり、マスク越しでも皆の笑顔がはじけた1日でした。



担当:観光交流課

10. 富田市政、4 期目スタート

10月に行われた任期満了に伴う可児市長選挙は、現職の富田成輝さんが無投票当選しました。11月7日、富田市政4期目がスタートしました。



担当:選挙管理委員会